

平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	西澤悦郎
	全体計画			経費区分	-	内線	3118
事務事業名	12420 防災施設整備事業						
所 属	050100 総務部・総務課						
施 策	03021300 防災体制の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費					
	事業	050000 防災施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
災害発生時に被害を最小限に止めるための施設、設備の充実を図り、情報伝達が迅速に行われる。				全国瞬時警報システム（Jアラート）新型受信機への移行により、機器の自動起動に要する時間が短縮されること、新たなソフトウェアが搭載されており機能面に関しても改善が図られていること。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・長野県グリーンニューディール基金事業を活用し、防災活動センター及び多目的（防災）広場備蓄倉庫公衆用トイレ太陽光発電設置工事を実施 ・同報系防災行政無線等のデジタル化更新に向けて、課内検討。 	長野県が行う長野県衛星系防災行政無線の更新 防災行政無線のデジタル化更新整備
平成29年度 実績	平成30年度 実績
防災行政無線のデジタル化更新整備	全国瞬時警報システム（Jアラート）新型受信機への更新整備
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
雨量計の更新整備	防災行政無線等防災機器の保守・管理

指標名	雨量計の更新整備					単位	台
算式						単位	台
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標				4		
	実績						
指標選定の理由	市内4カ所（市役所、峰の原、豊丘、仁礼）に設置している雨量計がH26年の更新後、気象庁が定める検定期間の5年を経過することから更新する						
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		2,646	1,144
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,646	1,144
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	1,430.0	1,430.0
	嘱託職員	287.5	287.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,717.5	1,717.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,363.5	2,861.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	2,646	全国瞬時警報システム（Jアラート）新型受信機更新工事2,646
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,144	雨量計更新整備1,144

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 現在の雨量計はH26年に設置し5年が経過する 気象庁が定める検定期間（5年）が切れることから更新 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 整備することは有効性が大きい 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 予算内での有効な予算執行に努める。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 防災上必要なデータであり、検定品であれば正式に公表も可能である

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

正確な雨量情報を得て、的確に避難情報が発信でき、安全安心が図られた。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

災害情報を迅速且つ的確に発信するための、情報収集、データ分析と、日頃からの設備点検が重要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--